

幸福で豊かな生活は、健康な毎日から



(一財)九州健康総合センター  
北九州市八幡東区平野 1-11-1  
電話(代)093-672-6050  
http://www.kyuken.or.jp  
編集 機関紙編集委員会  
発行人 野口修司

### 『肺がんの早期発見と治療』

医師 栗田 泰治



肺がんは、がんの中でも治療成績の悪いことで知られています。しかし、肺がんの場合も検診によって、自覚症状が出る前の早期段階で発見すれば生活の質を下げずに治療することが可能です。今回は栗田泰治医師に肺がんの早期発見と治療についてお願いしました。

#### 1. はじめに

肺がんは非常に進行の早いがんの一つで、日本人のがん死亡原因の第1位です。これは肺がんの患者さんの数が多いことが一つの理由ですが、もう一つ大きな理由は肺がんの5年生存率が20%程度であり、肺がんが非常に治りにくいがんであることです。

#### 2. 分類とその診断および治療

	組織分類	多く発生する場所	頻度	特徴
非小細胞肺がん	腺がん	肺野	40-50%以上	最も多い症状が出にくい
	扁平上皮がん	肺門	20-25%	咳・血痰などの症状が現れやすい喫煙との関連が大きい
	大細胞がん	肺野	約10%	進行が早い
小細胞がん	小細胞がん	肺門・肺野	10-15%	進行が早い転移しやすい

##### ①分類

肺がんは上記表で示したように4つに分類されます。小細胞肺がんは、早期にリンパ節や血行性転移をすること、また抗がん剤や放射線治療といった内科的治療がよく効くことから手術の対象となることは稀です。これに対して、その他の組織型では早期発見して完全に切除することが最良の治療であり、小細胞がん以外の組織型を一括して“非小細胞肺がん”と呼んでいます。

##### ②診断: 主に胸部X線写真について

肺がんの治療で最も大事なことは早期発見です。早期肺がんは、多くの場合、無症状です。逆に言うと、症状が出た時には進行がんのことが多いです。

肺がんの診断というと、多くの方が思い浮かべるのが胸



部X線写真です。ただ、残念ながら胸部X線写真で見つかる肺がんは必ずしも“早期”というわけではなく、“手遅れ”の場合もあります。

胸部X線写真では肺の末梢に腫瘍ができた場合には異常を見つけやすいのですが、肺門(肺の入り口付

近)に好発する扁平上皮がん等の腫瘍が見つげづらいというのが弱点の一つです。

肺門にできた腫瘍では咳や痰が初期症状のことも多いのでこのような症状が続く場合には風邪だと思いつまみで専門医の診察を受けるようにしてください。

最も多い腺がんの場合には多くが末梢に発生します。ところが腺がんの早い時期には、非常に淡い“かげ”にしかならないことも多く、非常に小さいため、胸部X線写真では見つけることが困難です。このような早い時期の腺がんの診断は、CT(コンピュータ断層撮影)が非常に有用で、当施設でも行えます。

##### ③治療

小細胞肺がんは一般的には抗がん剤や放射線治療といった内科的治療を行います。一方、非小細胞肺がんは手術による完全切除が最良の治療とされています。遠隔転移などがあり、完全に切除が望めないものは抗がん剤や放射線治療などの内科的治療を行います。

近年は遺伝子などを調べることによって個々の患者さんに適した抗がん剤を選べる、つまり“個別化治療、あるいはオーダーメイド治療”が可能になりつつあります。

#### 3. 最後に

肺がんの治療は早期発見が重要です。検診など定期的に胸部X線写真を撮ることが重要です。

また、喫煙などリスクのある方は、早期発見に有用な胸部CT検査を当施設でも行ってありますので、一度試してみたいかでしょうか。



### 胸部X線について

診療放射線技師 内田 千穂

胸部X線検査は「息を吸って、止めてください!」「ピ!」と瞬時に終わる検査ですが、胸部X線写真には肺野だけではなく心臓や骨の異常も写し出されます。読影をする放射線専門医に良い写真を提供し、肺がんをはじめとする胸部病変の早期発見につなげるのが、私たち放射線技師の仕事です。

CTの写真では心臓の裏側の肺野まで見えますが、胸部X線写真には骨や心臓や臓器が肺野に重なって、1枚の写真だけでは小さな病変を見逃してしまうことがあります。しかし、1枚だけでも病変を写し出せるように“職人技”を駆使し、精度管理にも日々取り組んでおります。

当施設では2004年からデジタル撮影『胸部経時サブトラクションシステム』を導入し、読影補助画像を医師へ提供しています。簡単に言うと①【今回の画像】から②【前回撮影画像】を引き算して、③【病変画像を浮き出させる】システムです。(下図参照)



“病変”を浮き出させるために、画像にないものが一緒に写り込んでいると、読影の妨げになります。撮影時に洋服を脱いでいただき、『無地のTシャツ(肌着)』での撮影をお願いしているのはこのためです。金具はもちろん、レースや刺繍、プリント柄など全て障害陰影となります。病変を早期に発見するために更衣のご協力をいただき、息をゆっくり大きく吸って肺野を大きく写真に写しましょう!

### 冬に向けて「免疫力」を高める食事

今年は、風邪やインフルエンザに加えて新型コロナウイルスの感染リスクを抑えることも必要です。感染症予防に欠かせない「免疫力」を高める食生活の情報を紹介します。

①免疫細胞が60~70%集中している腸内環境を良好に整えるための食品を摂りましょう。

- 【発酵食品】納豆・ヨーグルト・キムチ・味噌・漬物など
- 【オリゴ糖】玉ねぎ・ごぼう・バナナ・大豆製品など
- 【食物繊維】野菜・海藻・豆類・きのこ類・果物など

②肉や魚・卵・大豆などのタンパク質を豊富に含む食材を適量摂り、免疫力低下を防ぎましょう。

③免疫を活性化させるビタミンA,C,Eが多く含まれている緑黄色野菜を十分に摂りましょう。

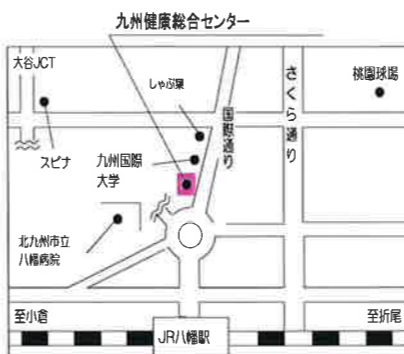


#### かぼちゃのカレー炒め

2人分(1人64kcal)

- ①種を取り除いたかぼちゃ100gを、長さ4~5cm、厚さ2cmに切り、小さじ1の油を熱したフライパンで焼く。
- ②塩、こしょう少々振って、カレー粉(適量)を加えて、かぼちゃが崩れないように全体からめ。

※かぼちゃ…ビタミンA,C,Eが豊富に含まれます。  
カレー粉…免疫力を高める効果が期待される、ターメリック(ウコン)が含まれます。



一般財団法人九州健康総合センター  
お問い合わせ先  
〒805-0062 北九州市八幡東区平野1-11-1  
TEL 093-672-6210 (健診予約)  
ホームページ http://www.kyuken.or.jp

#### 編集後記

今回は放射線関連について医師・技師2つの視点で記事を作成しましたが、いかがでしたか。早期発見するために、定期的な検診がとても大切であることを実感しました。最後に簡単なおかずも掲載していますので、よかったら作ってみてくださいね。

H.N